

自然を
たずねて

皆既日食のお話

皆既日食って、何？

太陽を月がかくすのを日食。全部かかれると皆既日食といえます。一年から一年半ぐらいに一度、地球上のさまざまな所で見る事ができます。

皆既日食になると、太陽が月のかげにすっかりおかわれてしまい、太陽がまるで黒くなったように見えます。そのまわりで、太陽の外側にあるガス（コロナ）が、真じゆのような色にかがやきます。写真では伝えきれないほどの、それは美しい現象です。



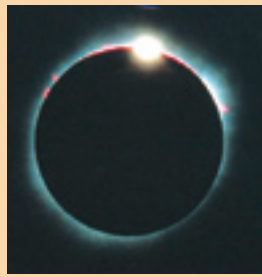
▲写真①

皆既日食中に起る、いろいろな現象

皆既日食の時は、ふだんは決して見る事のできない面白いことが、いろいろ起こります。

●ダイヤモンドリング

太陽が月のかげに完全にかくれる時と、月のかげから現れる時、光がすきまからまれて、まるで指輪のような美しい色を見せます。



▲写真②

●シャドウバンド（影の帯）

皆既日食の始まりと終わりに、地面に、ゆれるかげが写ります。プールの底に写るかげのようなものです。

●生き物たちの様子

辺りはまるでサングラスで見ているように暗くなっています。気温も下がります。動物や鳥たちが、いつもとちがう様子に気づき、さわぐことがあります。

●星・夕焼け

皆既日食になったとたん、サーッと暗くなり、空には惑星などの明るい星が現れます。夕焼けも見えます。

●木もれ日

部分日食（太陽の一部分が欠けたように見えること）の時、木もれ日などが、欠けている太陽と同じ形に写ります。左の写真は、部分日食の時に、紙にあけた穴を通った光の様子です。



▲光が穴を通ると…

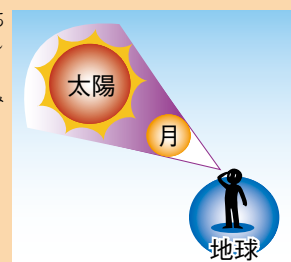


◀部分日食

上越市でも見る事ができるの？

皆既日食

は、太陽・月・地球が一直線にならんた時に見ることが



できます。上越市で見られるのは、いつでしょうか？

●2009年7月22日

鹿児島県の奄美地方から小笠原方面で、皆既日食が見られます。上越市では部分日食になります。

●2035年9月2日

みなさんが大人になっているころ、上越市で皆既日食を見ることができそうです。人びとが、世界中から日本に集まることでしょう。

*なお、太陽を直せつ見てはいけません。目が見えなくなるおそれがあります。必ず、しゃ光板や日食用メガネなどを用意しましょう。

（安塚小学校・小島）

写真①、②…佐山敬悦『黒い太陽にロマンを求めて』ホームページ (<http://eclipse.star.gs>) より